

演奏者・指揮者・作曲家のプロフィール



藤原道山（尺八）

人間国宝 初代山本邦山に師事。東京藝術大学卒業、大学院音楽研究科修了。在学中、安宅賞を受賞。桃華楽堂において御前演奏（宮内庁主催）。松尾芸能賞新人賞、台湾・金曲奨 (Golden Melody Awards) 「最優秀編曲賞」、令和二年度 芸術選奨文部科学大臣賞、第5回服部真二音楽賞ほか受賞。

伝統音楽の演奏活動及び研究を行うと共に、尺八の可能性を求めユニット活動、音楽監修、音楽制作など活動の幅を広げている。後進の育成など普及・教育活動にも力を注ぐ。東京藝術大学音楽学部准教授。



遠藤千晶（箏）

東京藝術大学大学院修了。第8回長谷谷校記念全国邦楽コンクールにて最優秀賞、文部科学大臣奨励賞受賞。

「遠藤千晶箏リサイタルー挑みー」の演奏で第62回文化庁芸術祭新人賞受賞。

第13回日本伝統文化振興財団賞受賞。第38回松尾芸能賞新人賞受賞。

2009年以降、ソリストとして国内外のオーケストラと多数協演し、「遠藤千晶 箏協奏曲の軌跡」をはじめCD・DVDリリース。教科書『小学校の音楽』『中学生の音楽』（教育芸術社）等に掲載されている。



前田拓郎（ピアノ）

東京藝術大学音楽学部附属音楽高校、東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。全日本学生音楽コンクール小学校の部（第49回）・中学校の部（第52回）それぞれ全国大会第1位。第4回安川加壽子記念コンクール第1位。第2回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA・派遣部門金賞。第35回日本ショパン協会賞受賞。ソロ演奏の他、室内楽分野でも多くの演奏家から信頼を得ており、CD収録等にも携わる。ピアノを馬場幸子、中村順子、多美智子の各氏に師事。

現在、尚美学園大学准教授。国際ピアノデュオ協会事務局長。



落合真子（ヴァイオリン）

滋賀県大津市出身。現在、東京藝術大学音楽学部にて宗次徳二特待奨学生とし3年に在学中。学内にて福島賞受賞。第90回日本音楽コンクール第2位を受賞をはじめ、第70回全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位・全国大会第2位、併せてサントリー芸術財団名器特別賞、第22回日本演奏家コンクール第1位、第7回刈谷国際音楽コンクールグランプリ、第24回松方ホール音楽賞など多数入賞。ミュージックアカデミーinみやざき優秀賞、霧島国際音楽祭賞受賞。佐渡裕とスーパーキッズオーケストラ2018年度コンサートミストレスを務める。ARK シンフォニエッタ、ジャパン・ナショナル・オーケストラ等にも参加。現在、漆原朝子、漆原啓子、堀正文の各氏に師事。



河井 勇人 (ヴァイオリン)

東京藝術大学 SSP (飛び入学) 3 年在籍 2020 年度宗次徳二特待奨学生

15 年第 13 回リプスキ・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第 1 位 (ポーランド)。17 年若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール第 10 回記念大会ヴァイオリン部門第 1 位 (カザフスタン)。21 年ヴィクトル・トレチャコフ国際ヴァイオリンコンクール第 1 位 (ロシア・クラスノヤルスク)。

現在、玉井菜採・堀正文・V. トレチャコフ各氏に師事。

使用楽器は一般財団法人 ITOH より貸与されているアントニオ・ストラディヴァリウス「Lyal」(クレモナ 1702 年製)。

国内外で多数の演奏会に出演してきた。ソリストとして、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、ロシア・ナショナル管弦楽団等のオーケストラと共演。



岡田 桃佳 (ヴィオラ)

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学 4 年在学中。

第 3 回 K 弦楽器コンクール第 1 位。第 11 回秋吉台音楽コンクール第 2 位。

奏楽堂モーニングコンサートにて藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。小澤征爾音楽塾、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀参加。

2023 年 10 月より、ベルリンフィル・カラヤンアカデミー奨学生として留学予定。紀尾井ホール室内管弦楽団 2023 年度シーズンメンバー。



衛藤 理子 (ヴィオラ)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学 4 年に在学中。

ヴァイオリンを故林智之、中村恵子、ヴィオラを故川崎和憲、大野かおる、臼木麻弥の各氏に師事。ヴィオラスペース 2021 マスタークラス、プロジェクト Q 第 19、20 章、丹波篠山ヴィオラマスタークラス等参加、小澤室内楽アカデミー奥志賀、鶴沼室内楽セミナーなどで経験を積む傍ら、様々な楽器や声楽曲のヴィオラ編曲、アウトリーチ活動も行う。



泉 優志 (チェロ)

6 歳よりチェロを始める。

第 89 回日本音楽コンクールチェロ部門第 3 位。E. ナカミチ賞受賞。第 70 回全日本学生音楽コンクール 東京大会 第 1 位、同全国大会 第 3 位。日本チェロ協会主催「第 8 回チェロの日」「アジア・パシフィック・チェロ・コンGRESS 2020」にて演奏。2020 年東京藝術大学内にて、福島賞受賞。2021 年度青山音楽財団奨学生。

A. メネセス、S. イッサーリスのマスタークラス受講。現在、中木健二に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、現在、東京藝術大学音楽学部 4 年在学中。



松谷壮一郎（チェロ）

第73回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部名古屋大会第1位、全国大会第3位。第75回同コンクールチェロ部門大学の部東京大会第2位、全国大会第2位並びに横浜市民賞など受賞多数。セントラル愛知交響楽団と共演。2022年度青山音楽財団奨学生。サントリー室内楽アカデミー第7期フェロー。小澤征爾音楽塾に参加。第36回京都芸術祭にて京都府知事賞受賞。

現在中木健二氏に師事。

東京藝術大学音楽学部器楽科4年在学中。



長坂美玖（コントラバス）

17歳よりコントラバスを始める。

第4回泉の森コントラバスコンクール第1位。

第11回秋吉台音楽コンクール弦楽器部門奨励賞。

第1回P-NEXTコントラバスコンクール グランプリ 豊田市長賞。

2021、2022年度宗次エンジェル基金/公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度(給付型)奨学生。

愛知県立明和高等学校音楽科を経て東京藝術大学卒業。現在同大学大学院 修士課程一年在学中。



野村洸太郎（指揮）

群馬県太田市出身。東京音楽大学作曲指揮専攻（指揮）を経て、東京藝術大学音楽学部指揮科を卒業。指揮を小田野宏之、広上淳一、三河正典、尾高忠明、高関健、山下一史の各氏に師事。2019年度公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団音楽学生奨学生。東京藝術大学内にて2020年度「宮田亮平奨学金」、及び安宅賞を受賞。卒業時にアカンサス音楽賞、台東区長賞を受賞。現在、同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程に在籍。



冷水乃榮流（作曲）

1997年和歌山県生まれ。現在、東京藝術大学修士課程作曲専攻在学中。

これまでに作曲を森川隆之、鈴木純明の両氏に、ピアノを中川知保氏に師事。

第30回芥川也寸志サントリー作曲賞最終候補/聴衆賞、第89回日本音楽コンクール作曲部門2位（オーケストラ）などを受賞。2021年5月には《十七絃と室内オーケストラのための「ナースログ」》で東京藝大 Art Fes グランプリ受賞、ゲスト審査員特別賞受賞。2021年和歌山県橋本市文化奨励賞受賞、2022年和歌山県文化奨励賞受賞。NHK「にっぽんの芸能」で「脆性ノスタルジア」が演奏されるなど近年注目を集めている。